



やぶやぶにゆうす

保険損害代理店協会認定
特級代理店
初夏号

富士火災海上保険(株)
三井住友海上火災保険(株)
東京海上日動火災保険(株)
あいおい損害保険(株)
損害保険ジャパン
アリコジャパン
オリックス生命保険(株)
東京海上日動フィナンシャル生命(株)

編集・発行:特級代理店(株)大蔵保険コンサルタント 〒167-0043 東京都杉並区上荻1-4-5村上ビル5F TEL.03-3392-6765 FAX.03-3392-6793

新会社法が設立されます。これからは有限会社が廃止され、株式会社になり、有限会社の良い点はある程度引き継ぎ、新しい株式会社が生じます。既存の有限会社は新しい株式会社に移行するか「特例有限会社」として残す方法のどちらかを選択します。

上記の株式会社と従来からの合名会社や合資会社の他に合同会社や加わった会社形態となります。合同会社(LLC)は一人でもできる会社で法人税課税されず、業務執行員同士が集まり、出資金に關係なく損益の分配も自由にできるなど組織設計が柔軟に行え機動的な事業展開ができます。異業種が集まり一つの目標に向かっているように、同じようなもので事業組合(LLP)もあり、こちらは二人以上の集まりで構成員個人個人に所得課税されず、ただ財務省がLLCは相続対策に活用される危険から税制面での問題を指摘しています。

新会社法では最低資本金がなくなり、株券も不発行でよく、さらに類似の規約も簡素化し、会社目的の記載も緩和され、また出資金の払込保証がなくなり、残高証明で可能となり、会社の大変楽になりました。

従来からの会社でも取締役は一人でも可能となり、役員任期も十年まで延長することができ、費用負担も軽減でき、

監査役の代わりに会計参与制度を置くこともできるようになり、小・零細企業の実態に合わせた簡素化した制度となります。

さて、十八年度の税制改正において、5000円以下の交際費と業績連動型の適正な規定がある役員給与賞与も損金可能となります。また定率減税も廃止されます。でも、大きなポイントは、同族会社の法人で、留保金課税制度が見直しされ、内部留保の充実に図られることと可能となりました。そして特殊支配・同族会社で年間所得金額及び業務主率役員給与などの平均額が800万円以上あった場合は、損金と役員給与と所得控除という言わば二重課税を認められなくなり、損金の活用がでやすくなります。有効に経費として生かし、尚且つ退職金の準備もできる生命保険の活用などの検討も必要になってきました。

個人では「損害保険控除」がなくなり、創設された「地震保険控除」が、新設された所得控除からは年間5万円(住民税からは2,5万円)が控除されるようになり、また相続税物納手続きも改善された。法律や税制の改正時は従来からの慣習やシステムを見直す良い機会です。一緒に考えてみましょう。詳しくは税務専門家へもお尋ね下さい。

さらにその取締りでも従来はミニバトだけでなく、民間に委託された業者も可能となりました。その業者が過度な執行があり、不満があった場合でも「公務執行妨害」などの対象ともなり、ご注意下さい。しかも民間委託された業者は警察官OBを多く採用しているのです。クレーム対応には慣れているようです。自動二輪車も強化の対象になっているようです。

駐車違反の重点的に活動する場所・時間帯を定めた「駐車監視員活動ガイドライン」を警察署から策定・公表されますので参考にしてください。今回から放置駐車違反で標章が取り付けられた車両の運転者が反則金の納付をしない場合は車両使用者が責任を取り、納付することになりました。さらに常習違反者には一定期間の車両の使用制限命令

厳しくなります。道路交通法の一部改正が本年6月1日から施行されます。放置車両の確認と標章の取り付けが民間に委託され、短時間で違反になります。従来のミニバトのお姉さんがチョークを引き、駐車時間を確認する取締り方法から、駐車時間の長短にかかわらず「単に放置であること」を確認する「事務作業」で取り締まれることになりました。極端に言えば車から離れたら放置車両とみなされ、駐車違反の標章が貼られる可能性が出てきたのです。

同族会社は検討が必要

同族会社は検討が必要

同族会社は検討が必要

同族会社は検討が必要

同族会社は検討が必要

同族会社は検討が必要

新会社法と十八年度税制改正 同族会社は検討が必要

運転禁止処分も行えることになりました。また、放置車両の督促を受けたもので、解消されない場合は車検手続きを完了できないことになりました。

車は便利なものですが、事故と共に違反に繋がらないよう十分に注意して下さい。それにも、「民営化」はいいのですが、必要以上の強化で民間とのトラブルや経済活動への制約につながっては、いけないと思います。先にほくろされた英国では民間事業者と所有者の間で暴言・暴行・脅迫などのトラブル例も多くみられます。この民営化が警察OBの受け皿作りでないこと祈りたいと思います。

自転車事故が多発しています

自転車も車両です。飲酒運転はもちろんお止め頂き、適切なルールとマナーを守り下さい。

いつか行きたい優雅な海外旅行

先日出張でクワラルンプールへ行ってきました。最近では長時間のフライトは苦痛になりました。だからといってビジネスや、ファーストに切り替える余裕もありませんのでエコノミー症候群と戦いながら、寝るか映画をひたすら見るかの時間を過ごしています。しばらく仕事から離れることになり、台湾に行ったときに同行者がホテルで亡くなるという悲しい出来事がありました。今回は同行者が長時間のフライトで腰痛が悪化、車椅子状態になったのです。入国審査を受ける際、あんたもって能率的に仕事したら?って言いたくなるくらい、隣のプースの係り官とおしゃべりをしたり、ひたすらパスポートをめくったりという南国モードの仕事ぶりがめだちます。入国審査を受けるこちらは長蛇の列、ひたすら自分の番が来るのを待ちます。その点子供づれと車椅子の方は優遇、いつも良い心と心の片隅で思っていました。その時がきたのです。一歩も歩けなくなった同行者と急遽、介添え人となった私は一番最後に降りることに、折りたたみの車椅子が運ばれてきました。あるんですねこんなの初めてみました。狭いエコノミーの通路をギリギリで折りたたみ車椅子が進みます。そして飛行機のダラップ前には頑丈な車椅子が、そこからさすがに回教徒が多いお国柄、頭をスカーフでしっかり包み込んだ女の子が車椅子を引いてくれます。私は荷物を持ってくっついていだけ、入国審査も乗務員入り口という場所で形式的にスタンプを押してくれただけ、車椅子の人は悪事を働かないかと思っているのかしら、同行者の腰痛はホテルに着いても悪化してきたようで、ほとんどベットの上で過ごしました。お気の毒に、帰日も勿論車椅子に飛行場には車椅子の待合場所のようなものがあって各国の車椅子の人が集結、職員が迎えに来てくれるのを待っています。今度は一番に飛行機に乗り込みました。そこでJALの乗務員が(ちょっと年配の女性、間違ってもTVドラマのアテンションブリーズに出ていない感じじゃない)ご確認させていただきますが、あくまでもお客様に強いご希望で日本までお連れすること、様態が悪化なさってもJALとは関係ないことよろしいですね、ボーとそばで聞いていた私にもそちら様もご認識されましたね、思わず力強くうなずきました。あんまりJALは良いニュースが流れてきませんが乗務員はしっかりしている、仕事が出来中高年、お互いががんばりましよと心の中でエールを送った次第です。(杉山)

自転車も車両です。飲酒運転はもちろんお止め頂き、適切なルールとマナーを守り下さい。